第5学年 算数科学習指導案

単元名:分数

- 1. 令和6年10月3日(木) 第5校時
- 2. 5年1組 (男子9名 女子6名 計15名)
- 3. 場 所 5年1組教室
- 4. 授業者 兼澤 尚美

単元について

本単元は、小学校学習指導要領第5学年の内容 [A数と計算] に示された指導事項のうち、(4) ア(エ)「分数の相等及び大小について知り、大小を比べること」(5)ア(ア)「異分母の分数の加法及び減法の計算ができること」、[C変化と関係](3)ア(ア)「ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係とを比べる場合に割合を用いる場合があることを理解すること」を受けて設定したものである。

本単元では、前学年までの既習事項を踏まえながら、等しい大きさの分数を手がかりとして、約分や通分を指導し、続いて異分母分数の加法及び減法を指導する。さらに、わり算の商を分数で表すことを通して、分数の意味を「商分数」まで広げ、さまざまな分数の用法を理解し、分数の理解を深めていくことをねらいとしている。

本学級の児童は、第4学年で等しい分数について 数直線を手がかりに学習している。 さらに、同分 母の加減計算を学習している。事前テストの結果は 次の通りである。

- ①等しい分数を理解している。 (87%)
- ②同分母の加減の計算ができる。 (100%)
- ③計算の仕方を、単位分数の個数に着目した考え方で 理解している。 (73%)
- ④最小公倍数や最大公約数の問題が解ける。(73%) この結果から、児童は同分母の加減計算ができていると言える。しかし、計算の仕方において、単位分数のいくつ分という見方には少し課題がある。最小公倍数や最大公約数といった本単元の分数の理解に必要な知識・技能にも課題が見られる。





指導に当たっては、まず、導入で分数の大きさ比べゲームを行う。ゲームをすることで、児童は、大きさを比べやすい分数の組み合わせや比べにくい分数の組み合わせに遭遇する。具体的には、①同分母分数の組み合わせ(5/6 と 2/6)、②同分子分数の組み合わせ(1/2 と 1/3)、③大きさが等しい分数の組み合わせ(1/2 と 2/4)、④異分母分数の組み合わせ(3/5 と 2/3)を取り上げ、既習事項を生かしながら、数直線を活用した等しい分数づくりや等しい分数の分母と分子の関係を調べていく。その中で、約分や通分を学習していく。その際、形式的な学習にならないよう、意味をよく理解し、数直線や矢印を使った図を使いながら、大きさの等しい分数に着目できるように指導していきたい。

その学習を生かし、次は、異分母分数の加減計算を行う。ここでは、前学年までに学習した同分母分数の加減計算での単位分数のいくつ分かで考えるという基本の考えを使うことが大切である。その考え方に課題がある児童の実態をふまえ、単位が違うと計算できないという課題を提示し、単位となる大きさをそろえなくてはいけないこと、つまり、通分することの必要性に気付かせるよう、課題解決の過程で液量図を活用していねいに扱いたい。また、形式的に計算するのではなく、児童に使わせたい算数用語(もとになる分数・通分・いくつ分)を使って計算の仕方を説明できるように指導を進めていく。また、このような既習の学習を活用し課題を解決していく学習過程の中で、既習を活用することのよさを感じ取らせたい。

さらに、分数をわり算の商としてとらえる学習をし、分数を小数で表したり、小数や整数を分数の形で表したりして、整数、小数、分数を一つの数の仲間として統合的に捉えさせていきたい。

単元の目標

○ 異分母分数の加減計算や商としての分数を考えたり説明したりすることを通して、分数についての理解を深めるとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。

単元の評価規準

知識·技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度 ①一つの分数の分子及び分母に同じ ①分数の性質に基づいて、数の相等 ①一つの分数の分子及び分母に同じ 数を乗除してできる分数は、元の 及び大小関係について考察してい 数を乗除してできる分数は、元の 分数と同じ大きさを表すことを理 る。 分数と同じ大きさを表すことな ど、学習したことをもとに、異分 解している。 ②異分母の分数の加法及び減法につ ②分数の相等及び大小について知 母の分数の加法及び減法の計算の いて、分数の意味や表現をもとに り,大小を比べることができる。 仕方を考えたり, 計算の仕方を振 したり,一つの分数の分子及び分 ③異分母の分数の加法及び減法の計 母に同じ数を乗除してできる分数 り返り多面的に検討したりしよう 算ができる。 は, 元の分数の加法及び減法と同 としている。 ④整数の除法の結果は、分数を用い じ大きさを表すことを用いたりし ②整数の除法の結果を分数で表すこ ると常に一つの数として表すこと て, 計算の仕方を考えている。 とによって計算の結果をいつでも ができることを理解している。 ③整数の除法の結果を分数で表すこ 一つの数で表すことができるとい ⑤整数及び小数を分数の形に直した とができることを見いだし、分数 うよさに気付き、学習したことを、 り、分数を小数で表したりするこ の意味を拡張して考えている。 生活や学習に活用しようとしてい とができる。 る。

指導計画(全13時間)

		評価の観点(評価方法)		
	ねらい・学習活動	・指導に生か	・指導に生かす評価 ○記録に残す評価	
		知・技	思・判・表	主体
1	分数の大きさ比べゲームを行い、等しい分	・知① (ノート・		
	数の作り方とその性質を理解する。	発言)		
2	約分の意味と約分の仕方を理解する。		・思① (ノート・	
			発言)	
3	通分の意味,分母が互いに素な場合の通分	・知② (ノート・		
	の仕方を理解する。	発言)		
4	分母が互いに素でない場合の通分の仕方	○知② (ノート・	○思① (ノート・	
	を理解する。	発言)	発言)	
5	異分母分数の加減計算の仕方を考え,理解		○思② (ノート・	○態①(ノート・
	する。 (本時)		発言)	行動観察)
6	答えが約分できる場合や3口の場合の異	○知③ (ノート・		
	分母分数の加減計算ができる。	発言)		
7	帯分数どうしの加減計算の仕方を考え,理	・知③ (ノート・	○思② (ノート・	○態① (ノート・
	解する。	発言)	発言)	行動観察)
8	練習問題を解き,学習内容を確実に身に付	○知③ (ノート)		
	ける。			
9	商としての分数の意味を理解する。	○知④ (ノート・	・思③ (ノート・	
		発言)	発言)	
1 0	分数を除法の商とみて, 分数を小数で表す	・知⑤ (ノート・		
	ことができる。	発言)		
1 1	小数や整数を分数で表すことできる。	○知⑤ (ノート・		
		発言)		
1 2	分数倍の意味を理解する。		○思③ (ノート・	○態② (ノート・
			発言)	行動観察)
1 3	学習のまとめをする。	○知②③⑤(ノー		
		F)		

本時

(1) 本時の目標

○ 異分母分数の加減計算において、分数の表現に着目し、分母をそろえればよいことに気付き、計算の 仕方を考えたり説明したりすることができる。

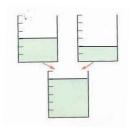
学習活動 主次発問(○) と発問(○) で指導上の傾意点で指導上の傾意点で指導上の傾意点で対象の大きとを学習しましたが、通分という算数言葉を習いました。通分という算数言葉を習いました。をか比べられました。をか比べられました。で通分すると、1/Oが何間分あるかで大きが比べられました。で通分すると、1/Oが何間分あるかで大きが比べられました。で通分は参すすか。・1/2+1/3です。 ・ 通分けると、1/Oが何間分あるかで大きが比べられました。で通分は参すすか。・1/2+1/3です。 ・ 通分は分母を同じ数にするので、分母の最小公倍数にするとできます。 ・ 通分は分母が応います。・ ・ ・ ・ ・ ・ 1/2+1/3です。 ・ 本きせる。な通分の意味をもう一度おさておく。 2 間囲場面を把握する。 ・ 元れまでの分数のたし算と違うところはどこでしょう。・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	下程される児童(・) ☆指導上の留意点 ☆指導上の留意点 ☆指導上の留意点 ☆前時までの学習をノー・通分という算数で取るともとに 後習をさせる。 通分は、分母が違う分数の大きさを比べるために必要な考え方です。 通分は、分母が高り分数の大きさを比べるために必要な考え方です。 通分は、分母を同じ数にするので、分母の最小な倍数にするとできます。 ○式はどうなりますか。 ・1/2+1/3です。 ○ これまでの分数のたし算と違うところはどこでしょう。 ○ これまでの分数のたし算と違うところはどこではよう。 ○ これまでの分数のたし算と違うところはどこではよう。 ○ とのように計算すれば、求められそうですか。 ・分母がちがう 1/2+1/3 の計算ができるか考えて説明しよう。 ○ とのように計算していました。 ☆ 同分母分数のたし算は、単位分数のいくつ分かで考えるという基本の考えるというと計算していました。 ☆ 同分母分数のたし算には、単位分数のいくつ分かで考えるというと対していました。 ☆ 同分母分数のたし算には、単位分数のいくつからい方とがな場ぶをよる。 ○ とのように計算していました。 ☆ 同分母分数のたし算には、単位分数のいくつから、分分に対しませる。 ☆ 日間が解けない児童には、か世が違うときにしていたを掲示を考えるというまままさる。 ☆ 日間が解けない児童には、か世が違うときにしていたを掲示を考えるというようにしていたかを掲示を考えるというと対していませる。 ☆ 日間が解けない児童には、かせが違うときにしていたがを掲示を考えるととを掲起さる。 ☆ 日間が解けない児童には、かせが違うときにしていたがも掲示を考えるととを掲起さる。 ☆ 日間が解けない児童には、かせが違うととも掲起さる。 ☆ 日間が解けない児童には、かせが違うととも掲起さる。 ☆ 日間が解けないと言葉できることを表記を考えさせるようにする。 世間が解けないと言葉できることを表記を考えさせるようにする。 □ ○ 日間は □ ○ 日間は	<u> </u>	7 3	
 通分という算数言葉を習いました。 通分は、分母が違う分数の大きさを比べるために必要な考え方です。 適分すると、I/Oが何個分あるかで大きさが比べられました。 適分すると、I/Oが何個分あるかで大きさが比べられました。 適分の意味をもう一度おさえておく。 ② 間題場面を把握する。 ジュースが2つのいれものにそれぞれ 1/2L、1/3L人っています。 あわせると何しですか。 3 本時のめあてを確認する。 【めあて】どうすれば、分母がもがう 1/2+1/3 の計算ができるか考えて説明しよう。 4 見通しをもつ。 ② どのように計算すれば、求められそうですかか。	・通分という算数言葉を習いました。 ・通分は、分母が違う分数の大きさを比べるために必要な考え方です。 ・通分すると、1/Oが何個分あるかで大きさが比べられました。 ・通分は、分母を同じ数にするので、分母の最小公倍数にするとできます。 ○式はどうなりますか。・1/2+1/3です。 ○これまでの分数のたし算と違うところはどこでしょう。 あわせると何しですか。 3 本時のめあてを確認する。 【めあて】どうすれば、分母がちがう1/2+1/3の計算ができるか考えて説明しよう。 4 見通しをもつ。 ○どのように計算すれば、求められそうですか。・1/○がいくつ分と計算していました。・1/○がいくつ分と計算していました。 ・1/○がいくつ分と計算していました。 5 自力解決をする。 5 自力解決をする。 ○はのように計算すれば、水められそうでは、単位分数のたし算は、単位分数のたし第は、単位分数のたり多数のたし第は、単位分数のたり多数のたし第は、単位分数のたり多数のたし第は、単位分数のたり多数のたし第は、単位分数のたりのかで考えをおさえる。 ☆ 問題が解けない児童は、単位分数のたりませる。☆ 分母が適から表しいう基本の考えをおさえる。 ☆ 問題が解けない児童は、単位分数のいくの表と、☆ 分母が同じであれば起きせ、計算できるとを想しませる。※ 分母が同じてあれば起きせ、計算できるとを想します。 □ は、単位分数のいくの多とでは、分母が適している場が、1/○がいくつうとを想します。 □ は、単位分数のいくの表という見方を働かせる場の工夫	学 習 活 動	予想される児童 (・)	
・通分すると、1/○が何個分あるかで大き さが比べられました。 ・通分は、分Pを同じ数にするので、分母 の最小公倍数にするとできます。 ○式はどうなりますか。 ・1/2+1/3です。 ○これまでの分数のたし算と違うところ はどこでしょう。 ・今までは分母が同じ数字だったけど、今 日は分母が違います。 【めあて】どうすれば、分母がもがう 1/2+1/3 の計算ができるか考えて説明しよう。 ・ 今日をそろえればできると思います。 ○とのように計算すれば、求められそうで すか。 ・ 分母をそろえればできると思います。 ○これまでの分数のたし算にどのように 計算していました。 ・ 1/○がいくつ分と計算していました。 本の考えをおさえる。 □関が解けない児童 には、分母が確うときの 大小比較はどのように 力かで考えるという。 □関が解けない児童 には、分母が確うときの 大小比較はどのように 表示の考えをおさえる。 □関が解けない児童 には、分母が確うときの 大小比較はどのように を考えをおさえる。 □関が解けない児童 には、分母が確うときの 大小比較はどのように を考えるといるように まできることを想起させ、計算の方法を考え させるようにする。 思考を働かせる場の工夫 な 大小比較の時と同様、単位分数のいくつ分と ■ 思考を働かせる場の工夫 な 大小比較の時と同様、単位分数のいくつ分と ■ 思考を働かせる場の工夫	・ 通分すると、1/○が何個分あるかで大き	1 既習事項の確認をする。	・通分という算数言葉を習いました。 ・通分は,分母が違う分数の大きさを比べ	トや掲示をもとに復習
2 問題場面を把握する。 ジュースが 2 つのいれものにそれぞれ 1/2 L, 1/3 L人っています。 あわせると何しですか。 3 本時のめあてを確認する。 【めあて】どうすれば、分段がちがう 1/2+1/3 の計算ができるか考えて説明しよう。 4 見通しをもつ。 ○どのように計算すれば、求められそうですか。 ・分母をそろえればできると思います。 ○これまでの分数のたし算はどのように計算していました。 ・1/○がいくつ分と計算していました。 5 自力解決をする。 5 自力解決をする。 ② は、単位分数のいくつ分と計算できることを想起させ、計算の方法を考えとおさえる。 ☆ 問題が解けない児童には、分母が違うときの大小比較はどのようにしていたかを掲示を参考に思い出させる。 ☆分母が同じであれば計算できることを想起させ、計算の方法を考えさせるようにする。 思考を働かせる場の工夫 ☆ 大小比較の時と同様、単位分数のいくつ分と	2 問題場面を把握する。 ジュースが2つのいれものにそれぞれ 1/2L, 1/3L入っています。 あわせると何Lですか。 3 本時のめあてを確認する。 【めあて】どうすれば、分母がちがう 1/2+1/3 の計算ができるか考えて説明しよう。		・通分すると、1/○が何個分あるかで大き さが比べられました。・通分は、分母を同じ数にするので、分母	
ジュースが 2 つのいれものにそれぞれ 1/2L, 1/3L入っています。あわせると何Lですか。 ・今までは分母が同じ数字だったけど、今日は分母が遠います。 3 本時のめあてを確認する。 【めあて】どうすれば、分母がちがう 1/2+1/3 の計算ができるか考えて説明しよう。 4 見通しをもつ。 ②どのように計算すれば、求められそうですか。・分母をそろえればできると思います。○これまでの分数のたし算はどのように計算していましたか。・1/○がいくつ分と計算していました。・1/○がいくつ分と計算していました。 ☆ 同分母分数のたし算は、単位分数のいくう基本の考えをおさえる。 5 自力解決をする。 ☆ 問題が解けない児童には、分母が違うときの大小比較はどのようにしていたかを掲示を参考に思い出させる。 ☆分母が同じであれば計算できることを想起させ、計算の方法を考えさせるようにする。 歴考を働かせる場の工夫令大小比較の時と同様、単位分数のいくつ分と	ジュースが2つのいれものにそれぞれ1/2L,1/3L入っています。 あわせると何Lですか。 ○これまでの分数のたし算と違うところにはどこでしょう。 ・今までは分母が同じ数字だったけど、今日は分母が違います。 3 本時のめあてを確認する。 【めあて】どうすれば、分母がちがう1/2+1/3の計算ができるか考えて説明しよう。 4 見通しをもつ。 ○どのように計算すれば、求められそうですか。 ・ 分母をそろえればできると思います。 ○これまでの分数のたし算はどのように計算していました。 ・1/○がいくつ分と計算していました。 ☆ 同母が分数のたし算は、単位分数のいくう基本の考えをおさえる。 ・ 本の考えをおさえる。 			
はどこでしょう。	はどこでしょう。		○これまでの分数のたし算と違うところ	
日は分母が違います。	日は分母が違います。		はどこでしょう。	
3 本時のめあてを確認する。	3 本時のめあてを確認する。			
【めあて】どうすれば、分母がちがう 1/2+1/3 の計算ができるか考えて説明しよう。 4 見通しをもつ。 ○どのように計算すれば、求められそうですか。 ・分母をそろえればできると思います。 ○これまでの分数のたし算はどのように計算していました。 ・1/○がいくつ分と計算していました。 5 自力解決をする。 ○ 自力解決をする。 ☆ 同分母分数のたし算は、単位分数のいくつ分かで考えるという基本の考えをおさえる。	【めあて】どうすれば、分母がちがう 1/2+1/3 の計算ができるか考えて説明しよう。 4 見通しをもつ。 ○ どのように計算すれば、求められそうですか。 ・ 分母をそろえればできると思います。 ○ これまでの分数のたし算はどのように計算していました。 ・ 1/○がいくつ分と計算していました。 □ 問題が解けない児童には、分母が高さときの大小比較はどのようにしていたかを掲示を参考に思い出させる。 ☆ 分母が同じであれば計算できることを想起させ、計算の方法を考えさせるようにする。 思考を働かせる場の工夫 ☆ 大小比較の時と同様、単位分数のいくつ分という見方を働かせて、通分をしないと計算でき	あわせると何しですか。		
4 見通しをもつ。	4 見通しをもつ。	3 本時のめあてを確認する。		
すか。 ・分母をそろえればできると思います。 ○これまでの分数のたし算はどのように計算していましたか。 ・1/○がいくつ分と計算していました。 ち 自力解決をする。 ち 自力解決をする。 お 自力解決をする。 お は、単位分数のいくつ分かで考えるという基本の考えをおさえる。 本 で考えをおさえる。 本 の考えをおさえる。 本 の考えをおさえる。 本 の考えをおさえる。 本 でおきると思い。 本 では、分母が違うときの大小比較はどのようにしていたかを掲示を参考に思い出させる。 ☆ 分母が同じであれば計算できることを想起させ、計算の方法を考えさせるようにする。 思考を働かせる場の工夫 ☆ 大小比較の時と同様、単位分数のいくつ分と	すか。	【めあて】どうすれば,	分母がちがう 1/2+1/3 の計算ができるかま	考えて説明しよう。
・分母をそろえればできると思います。 ○これまでの分数のたし算はどのように 計算していましたか。 ・1/○がいくつ分と計算していました。 5 自力解決をする。 ○ 自力解決をする。 ○ 問題が解けない児童には、分母が違うときの大小比較はどのようにしていたかを掲示を参考に思い出させる。 ○ 分母が同じであれば計算できることを想起させ、計算の方法を考えさせるようにする。 □ 思考を働かせる場の工夫 ○ 大小比較の時と同様、単位分数のいくつ分と	・分母をそろえればできると思います。 ○これまでの分数のたし算はどのように計算していましたか。 ・1/○がいくつ分と計算していました。 5 自力解決をする。 5 自力解決をする。 5 自力解決をする。 ○	4 見通しをもつ。	○どのように計算すれば、求められそうで	
 ○これまでの分数のたし算はどのように計算していましたか。 ・1/○がいくつ分と計算していました。 5 自力解決をする。 5 自力解決をする。 ☆ 問題が解けない児童には、分母が違うときの大小比較はどのようにしていたかを掲示を参考に思い出させる。 今分母が同じであれば計算できることを想起させ、計算の方法を考えさせるようにする。 思考を働かせる場の工夫 ☆ 大小比較の時と同様、単位分数のいくつ分と 	 ○これまでの分数のたし算はどのように計算していました。 ★ 同分母分数のたし算は、単位分数のいくつ分かで考えるという基本の考えをおさえる。 5 自力解決をする。 ☆ 問題が解けない児童には、分母が違うときの大小比較はどのようにしていたかを掲示を参考に思い出させる。 ☆ 分母が同じであれば計算できることを想起させ、計算の方法を考えさせるようにする。 思考を働かせる場の工夫 ☆ 大小比較の時と同様、単位分数のいくつ分という見方を働かせて、通分をしないと計算でき 		すか。	
ま算していましたか。 ・1/○がいくつ分と計算していました。 5 自力解決をする。 5 自力解決をする。 6 問題が解けない児童には、分母が違うときの大小比較はどのようにしていたかを掲示を参考に思い出させる。	計算していましたか。			カ 同公母公粉のた〕質
本の考えをおさえる。 本の考えをおさえる。 本の考えをおさえる。 本の考えをおさえる。 本の考えをおさえる。 本の考えをおさえる。 本の問題が解けない児童には、分母が違うときの大小比較はどのようにしていたかを掲示を参考に思い出させる。 ☆分母が同じであれば計算できることを想起させ、計算の方法を考えさせるようにする。 思考を働かせる場の工夫 ☆ 大小比較の時と同様、単位分数のいくつ分と	本の考えをおさえる。			は、単位分数のいくつ
5 自力解決をする。 ☆ 問題が解けない児童には、分母が違うときの大小比較はどのようにしていたかを掲示を参考に思い出させる。 ☆分母が同じであれば計算できることを想起させ、計算の方法を考えさせるようにする。 思考を働かせる場の工夫 ☆ 大小比較の時と同様、単位分数のいくつ分と	5 自力解決をする。 ☆ 問題が解けない児童には、分母が違うときの大小比較はどのようにしていたかを掲示を参考に思い出させる。 ☆ 分母が同じであれば計算できることを想起させ、計算の方法を考えさせるようにする。 思考を働かせる場の工夫 ☆ 大小比較の時と同様、単位分数のいくつ分という見方を働かせて、通分をしないと計算でき		・1/○がいくつ分と計算していました。	
大小比較はどのようにしていたかを掲示を参考に思い出させる。 ☆分母が同じであれば計算できることを想起させ、計算の方法を考えさせるようにする。 思考を働かせる場の工夫 ☆ 大小比較の時と同様、単位分数のいくつ分と	大小比較はどのようにしていたかを掲示を参考に思い出させる。 ☆分母が同じであれば計算できることを想起させ、計算の方法を考えさせるようにする。 思考を働かせる場の工夫 ☆ 大小比較の時と同様、単位分数のいくつ分という見方を働かせて、通分をしないと計算でき	5 自力解決をする。		☆ 問題が解けない児童
していたかを掲示を参 考に思い出させる。 ☆分母が同じであれば計 算できることを想起させ、計算の方法を考え させるようにする。 思考を働かせる場の工夫 ☆ 大小比較の時と同様、 単位分数のいくつ分と	していたかを掲示を参 考に思い出させる。 ☆分母が同じであれば計 算できることを想起させ、計算の方法を考え させるようにする。 思考を働かせる場の工夫 ☆ 大小比較の時と同様、 単位分数のいくつ分と いう見方を働かせて、通 分をしないと計算でき			
☆分母が同じであれば計算できることを想起させ、計算の方法を考えさせるようにする。 思考を働かせる場の工夫 ☆ 大小比較の時と同様、単位分数のいくつ分と	☆分母が同じであれば計算できることを想起させ、計算の方法を考えさせるようにする。 思考を働かせる場の工夫 ☆ 大小比較の時と同様、単位分数のいくつ分という見方を働かせて、通分をしないと計算でき			していたかを掲示を参
せ、計算の方法を考え させるようにする。 思考を働かせる場の工夫 ☆ 大小比較の時と同様、 単位分数のいくつ分と	せ、計算の方法を考え させるようにする。 思考を働かせる場の工夫 ☆ 大小比較の時と同様、 単位分数のいくつ分と いう見方を働かせて、通 分をしないと計算でき			
させるようにする。 思考を働かせる場の工夫 ☆ 大小比較の時と同様, 単位分数のいくつ分と	させるようにする。 思考を働かせる場の工夫 ☆ 大小比較の時と同様, 単位分数のいくつ分と いう見方を働かせて, 通 分をしないと計算でき			
☆ 大小比較の時と同様, 単位分数のいくつ分と	☆ 大小比較の時と同様,単位分数のいくつ分という見方を働かせて, 通 分をしないと計算でき			,
単位分数のいくつ分と	単位分数のいくつ分と いう見方を働かせて, 通 分をしないと計算でき			思考を働かせる場の工夫
	いう見方を働かせて, 通 分をしないと計算でき			
, , -··· - /, -				いう見方を働かせて, 通
				かをしないと計算でき ないことに気づかせる。

- 6 考えを共有し、検討する。
- どのように答えを出したか発表しま しょう。
- $\cdot 1/2 + 1/3 = 5/6$
- ◎ この考えはどうですか。

1/2+1/3=2/5

- 分母もたし算してしまっています。
- ・分母が違うと、もとになる分数が違うので、1/○がいくつ分と計算できません。
- 分母をそろえないといけないので、通分をして、

1/2+1/3=3/6+2/6 になって, 1/6が(3+2) つ分で5/6が 正しい答えです。



○ 正しい計算と答えを確認しましょう。

- ☆ タブレットでノート の写真を撮り、考えを交 流させる。
- ☆ 誤答の計算の仕方を 提示し、何が違っている のかを考えさせ、通分し て分母をそろえないと 計算できないことをお さえる。
- ☆ 液量図を用いて,単位 分数が違うことを実感 させ,計算が間違ってい ることをおさえる。

思考を表現する場の工夫

- 計算の仕方を説明する際,使わせたい算数 る際,使わせたい算数 用語(もとになる分)数・通分・いくつりとう 数使ってしっかりと説 を使できるようにさせる。
- 分数の表現に着目し、 分母をそろえればよい ことに気付き、計算の仕 方を考えたり説明した りしている。【思②】
- りしている。【思②】 ● 学習したことを加た に、異分母の分数の加方 とで減法の計算の仕方 を考えたり、計算の仕方 を振り返り多面的に検 討したりしようとして いる。【態①】

7 まとめをする。

【まとめ】分母がちがう 1/2+1/3 の計算は、分母をそろえるために通分を して、1/6 がいくつ分と考えると計算できる。

- 8 減法の計算の仕方を確認する。
- ○問題のジュースのちがいはどうすれば 求められますか。
- $\cdot 1/2-1/3$ で、たし算と同じように、通 分をして 1/6 が (3-2) つ分とすればよ いです。
- 9 適用問題をする。

1/3 + 2/5 210/7 - 1/4

31/6+7/9 45/4-1/6

☆ ③と④は、分母の最小公倍数を分母にすることに注意させる。

10 「今日のなるほど」「明日の	・今までは, ○がいくつ
ために」を発表する。	ど、今日は
	をそろえる
	ができるこ

- ・今までは、分母が同じだったから、1/ ○がいくつ分と簡単に解けていたけれ ど、今日は分母が違っていたので、分母 をそろえると4年生の時のように計算 ができることが分かりました。
- ・分母が違っていても、分数のたし算の 1/○がいくつ分という考え方は同じな んだなと思いました。
- ・4年生の時に習った 1/○がいくつ分で 考えることを5年生になっても使うの で、習ったことは大切だなと気づきまし た。

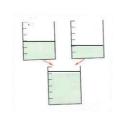
☆ ふり返りの視点

・今までの問題と今日の問題の共通点や違いに注目させる。

板書計画

- どうすれば、分母がちがう 1/2+1/3 の計算ができるか考えて説明
- 問 ジュースが2つの入れものにそれ ぞれ1/2L,1/3L入っています。 あわせると何しですか。
- 見分母がちがう

これまでは1/〇がいくつ分と計算



1/2+1/3=2/5

×分母もたし算している

(ま) 分母がちがう 1/2+1/3 の計算は、分母をそろえるために通分をして、1/6 がいくつ分と考えると計算できる。

×1/○がいくつ分とできない 分母をそろえる たし算と同じように 通分する ちがいは? 通分する 通分した式 式 1/2+1/3=3/6+2/6 式 1/2-1/3=3/6-2/6=5/6=1/61/6が(3+2)つで 5/6 200/7-1/41/3 + 2/551/6+7/965/4-1/6

答え 5/6L